

第14回 ATAC交流会に参加して

ATACは1991年に発足し今年で設立25年を迎えます。ATACグループの団体としては、1999年にATAC・MATE奈良、2001年にATAC和歌山 ATAC岡山、2003年にはATACひろしまが発足し現在では5グループを数えます。毎年全グループが集って中小企業に対する支援の情報共有、運営に対する意見交換をし合っています。今年は4月8～9日に広島県呉市に集まり第14回目のATAC交流会を実施致しました。

各グループからの活動報告や積極的な意見交換が行われ、今年度の主催者であるATACひろしまからは「ものづくり支援（技能系支援）」「ひろしま医療関連産業クラスター形成に向けた支援事業の取組み状況」の事例報告が行われました。各地のATACは各地域の特色があるものの成功事例を共有することにより各ATACの活動に活かしていくことが期待され、今後

も毎年、交流会を継続していくものとしています。

2日目は呉市にある大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）や実物の巨大潜水艦を陸上展示してある「てつのくじら館」を参加者で見学しました。呉は、戦艦「大和」を建造した日本一の海軍工廠のまちとして栄え、戦後はその技術を活かし世界最大のタンカーを数多く建造するなど、日本が戦後わずか10年ほどで世界一の造船国へ発展する一翼を担ってきた歴史を学ぶことができました。

（田中 記）

